



清瀬駅周辺の 未来構想ビジョン

令和8(2026)年3月
清瀬市

市長あいさつ

清瀬駅周辺は、令和2(2020)年3月に策定した清瀬市都市計画マスタープランにおいて、まちの中心拠点として位置付けられています。清瀬駅北口は、平成7(1995)年の市街地再開発事業から30年以上が経過し、老朽化している施設や設備の整備、現代のニーズに合わせたリニューアルが求められています。清瀬駅南口は、歩行者や自動車、バス等の交通動線が錯綜しており、交通結節点としての機能強化が不可欠な状況でございます。



こうした状況を踏まえ、まちの玄関口である清瀬駅周辺の交通機能を強化するとともに、商業・サービス等のさまざまな機能が集積するにぎわいのある中心市街地として長期的に発展させるために、「清瀬駅周辺の未来構想ビジョン」を策定いたしました。策定にあたっては、清瀬駅周辺の未来構想ビジョン策定に向けたまちづくり協議会のほか、市民アンケートやインタビュー、ワークショップ等を行い、市民の皆様や清瀬駅周辺を利用する方々の声を大切に、多様なご意見をふまえて検討してまいりました。

本ビジョンは、これから清瀬駅周辺のまちづくりを推進していくための第一歩となる指針でございます。その実現に向けては、行政だけでなく市民・事業者・関係団体の皆様も主体となり、協働して進めていくことが大切です。「みんなで育む ホッとリビング 駅まちきよせ」を清瀬駅周辺のまちの姿として掲げ、誰にとっても安全安心で、にぎわいとゆとりが調和したくらしの拠点づくりを目指し、皆様とともに取り組んでまいります。

結びに、本ビジョンの策定に際し、ご尽力いただいた協議会の皆様、ならびにアンケート等にご協力いただいた皆様、パブリックコメントを通じて貴重なご意見をお寄せいただきました市民の皆様など、関係された全ての方々に深く感謝申し上げます。

令和8年3月 清瀬市長

岸谷 桂司

目次

第1章 はじめに

1. 未来構想ビジョンとは	01
2. 策定にあたって	01
3. 検討範囲・対象期間	02
4. ビジョンの位置づけ	02

第2章 清瀬市ならびに清瀬駅周辺の現況

1. まちづくりを取り巻く社会状況	03
2. 上位計画における位置づけ	04
3. 清瀬駅周辺の特性と現状	05
4. 清瀬駅周辺のまちづくりの課題	05

第3章 清瀬駅周辺のまちづくりの将来像

1. 清瀬駅周辺のまちの姿	07
---------------	----

第4章 清瀬駅周辺のまちづくりの方向性と取組

1. 清瀬駅周辺のまちづくりの方向性	09
2. 清瀬駅周辺のまちづくりの取組	11
3. 清瀬駅周辺のまちづくりのイメージ	15

第5章 清瀬駅周辺のまちづくりの実現に向けて

1. 適切な手順や手法によるまちづくりの推進	17
2. 未来構想ビジョンの取り扱い	18
3. 今後の進め方	19

参考資料

① 用語の解説	21
② 検討の経過	23
③ まちづくり協議会での検討の様子	25
④ 各所でのアンケート、インタビュー実施の様子	27
⑤ パブリックコメントの実施状況	44
⑥ まちなかオープンハウスの実施	45

1 未来構想ビジョンとは

清瀬駅周辺は、令和2(2020)年3月に策定した清瀬市都市計画マスタープランにおいて、まちの中心拠点として位置付けられており、商業・サービス施設などの様々な機能が集積するにぎわいのある中心市街地の形成を目指す必要があります。

今後は、まちの中心地・玄関口として機能の強化・にぎわい創出に向けて、ハード・ソフトの両面から取組の検討を行い、事業へと展開していくことが求められています。

その実現に向けて、将来のまちの姿を明確にし、どのように清瀬駅周辺のまちづくりを進めていくか方針を示すために、『清瀬駅周辺の未来構想ビジョン』を作成しました。

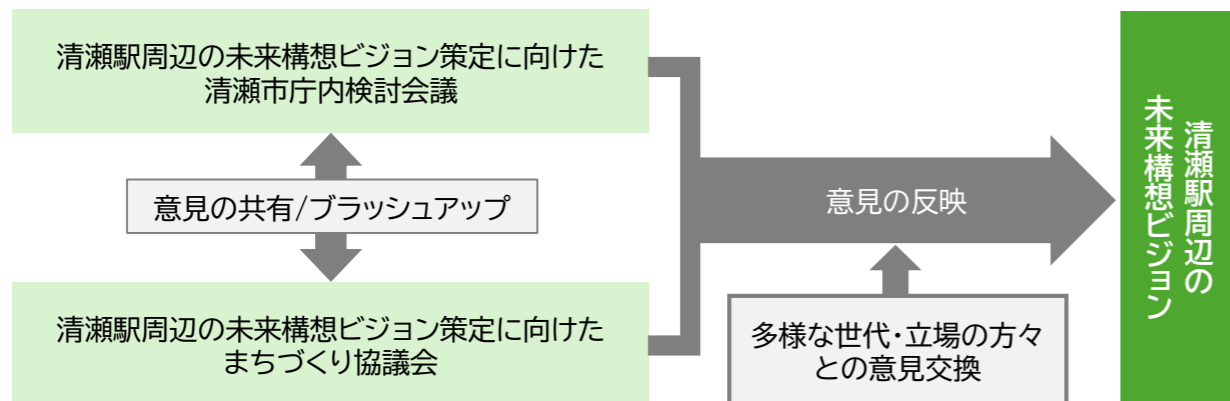


2 策定にあたって

清瀬駅周辺の未来構想ビジョンを策定するにあたり、『清瀬駅周辺の未来構想ビジョン策定に向けた清瀬市庁内検討会議(以下、庁内検討会議)』を設置しました。

同時に、清瀬駅周辺のまちの将来像や実現方法等について、市民の方や地域の関係者と意見交換を行い、幅広く検討するために、『清瀬駅周辺の未来構想ビジョン策定に向けたまちづくり協議会(以下、まちづくり協議会)』を設置しました。

本ビジョンの策定は、庁内検討会議とまちづくり協議会の両輪で検討を進めてまいりました。また、まちづくり協議会での意見に加え、各所でインタビューやアンケートを実施し、多様な世代・立場の方々との意見交換を経て、策定に至りました。



3 検討範囲・対象期間

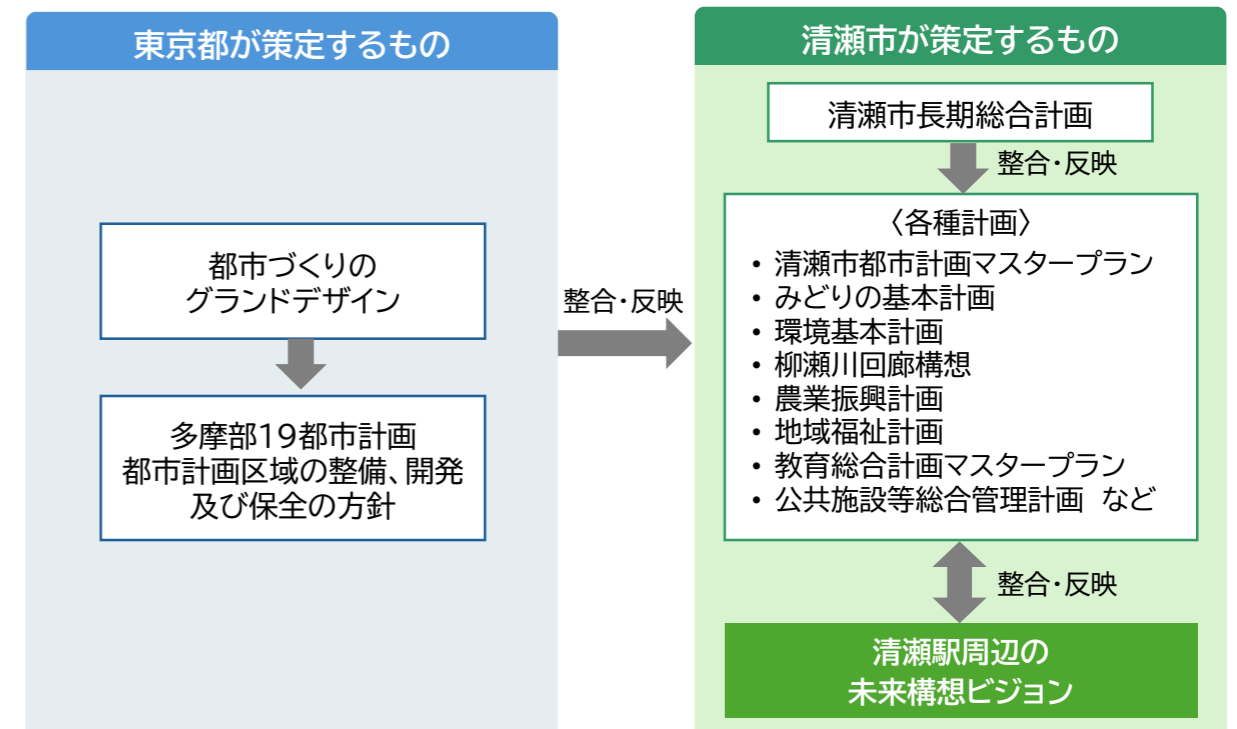
未来構想ビジョンの検討範囲は下図に示す通り、清瀬駅からおおよそ徒歩5分未満である清瀬駅より半径300mの区域とします。また、本ビジョンは、今後概ね30年間で具体化できる項目から検討を進め、実現に向けて取組を進めていきます。



▲本ビジョンの検討範囲

4 ビジョンの位置づけ

清瀬駅周辺の未来構想ビジョンの位置づけ



1 まちづくりを取り巻く社会状況

まちづくりを取り巻く社会状況は、大きな転換期にあります。以下では、①社会全体の状況、②近年のまちづくり政策の動向の2つに大別して整理を行いました。

① 社会全体の状況

- 人口構造の変化：少子高齢化、人口減少
- 価値観の多様化：ライフスタイルや働き方の変化
- 技術革新：AI・IoT・デジタル技術の進展
- 環境問題への対応：気候変動、脱炭素社会の実現
- 自然災害の激甚化・頻発化：台風・豪雨などへの備え
- 観光形態の変化：インバウンドの増加やスロートーリズムの浸透 など

② 近年のまちづくり政策の動向

- SDGs(持続可能な開発目標)：環境・社会・経済のバランスを重視した都市政策
- ウォーカブルなまちづくり：人中心の居心地が良く歩きたくなる都市空間の整備
- まちづくりDX：デジタル技術を活用した都市運営の効率化・高度化
- 駅まちデザインの概念：駅を中心とした都市空間の再構築
- 市街地整備2.0：従来の都市再生を超えた新たな整備手法
- 官民連携まちづくり：行政と民間が協力して地域課題に取り組む体制

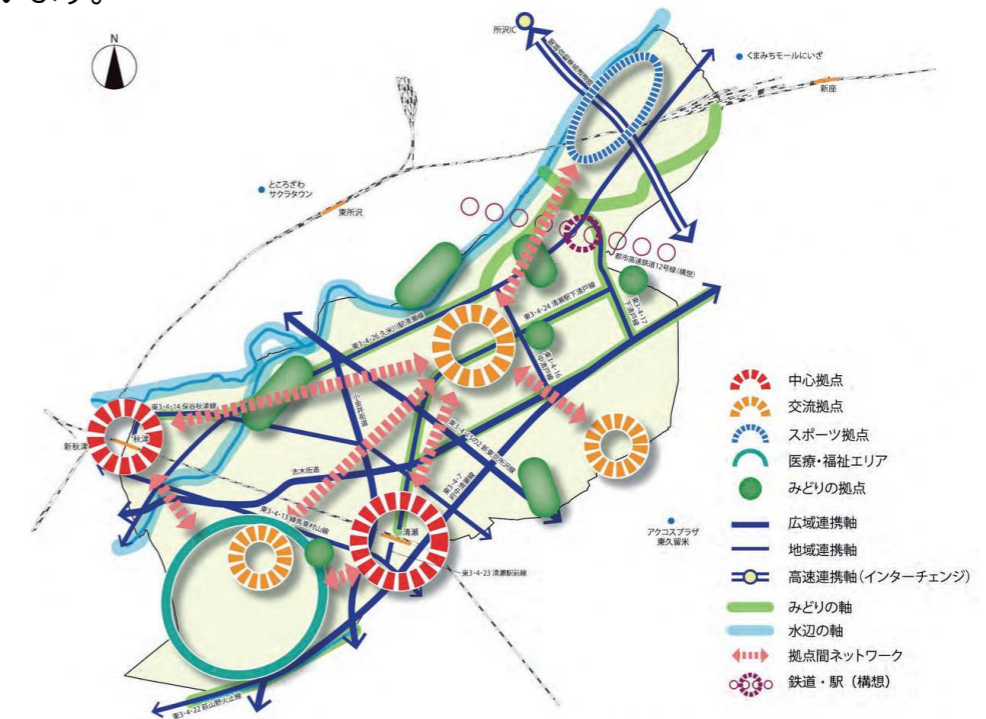
2 上位計画における位置づけ

(1) 第5次清瀬市長期総合計画（令和8(2026)年3月、清瀬市）

清瀬駅周辺はにぎわいの中心として、また、安全・安心・良好な居住環境が保全されているエリアとして、都市計画道路等の都市基盤の整備推進や、地域の特性を活かした住みやすく快適で安全なまちづくりの推進が掲げられています。さらに、北口周辺は商業・業務機能の充実、南口周辺は都市計画決定されている道路や駅前広場の整備・交通結節点機能の強化による駅周辺のリニューアルが掲げられています。

(2) 清瀬市都市計画マスタープラン（令和2(2020)年3月、清瀬市）

清瀬駅周辺は『中心拠点』として位置づけられており、南口の駅前交通広場や都市計画道路の基盤整備を進めるとともに、多様な都市機能の集積を図ることで、交通結節点機能の強化と円滑な移動を促進し、にぎやかで活力のある生活利便性の高い中心市街地の形成を目指すとしています。



▲ 将来都市構造図（出典：清瀬市都市計画マスタープラン）

(3) 多摩部19都市計画都市計画区域の整備、開発及び保全の方針

（令和3(2021)年3月、東京都）

清瀬市は東村山都市計画区域に属し、新都市生活創造域の中で『地域の拠点』として位置づけられています。清瀬駅周辺の将来像として、都市基盤整備と土地の有効活用により商業・医療・福祉施設が集積し、にぎわいのある地域の拠点形成とともに、駅南口周辺の都市計画道路と交通広場の整備促進による交通利便性の向上が掲げられています。

3 清瀬駅周辺の特性と現状

令和5(2023)年度に実施した基礎調査の結果や、まちづくり協議会でいただいた意見、多様な世代・立場の方々からの意見を踏まえ、清瀬駅周辺の特性と現状について整理しました。

(1) 清瀬駅周辺の特性

- 市民生活を支える機能が集積し、様々な人が往来している
- 交通結節点として、市内や都心部・他エリアへアクセスしやすい
- 都心へのアクセスが良好な都内に位置しながら、農を身近に感じられる
- 医療サービスや医療とともに発展した歴史を持ち、健幸やWellnessが実現できる潜在力を有する
- 高校や大学等の教育・研究機関があることで、若い世代が駅を利用し通学している
- 老舗や専門店など個性ある店舗が集積し、歩いて楽しい商店街が立地する
- 治安が良く安心して過ごせる環境で、人とのつながりを感じられる



(2) 清瀬駅周辺の現状

- スーパーや飲食店など生活に必要な機能は一通り揃っているものの、施設規模や設備が十分でなく、市民が利用しにくい状況となっている。
- 歩行者・バス・自動車などが交錯したり、踏切や南北往来の歩行者アクセスが悪く、安全でない場所がある
- 清瀬らしい特色が表現できていない
- 歩きたばこやポイ捨てなどマナー違反が見られる
- 若者やファミリー向けのスポットが少ない
- 歩道の凸凹など、お年寄りや車いす利用者等にとって優しくない空間がある
- 休憩したり交流する場所が少ない
- 店主の高齢化や担い手不足、店舗の老朽化や空き店舗が増加している



4 清瀬駅周辺のまちづくりの課題

まちづくりを取り巻く社会状況、上位計画における位置づけ、清瀬駅周辺の特性と現状を踏まえ、清瀬駅周辺のまちづくりの課題について整理しました。

- | | |
|--|--------------------------------------|
| ① 多様な世代が暮らしやすい居住機能の維持・強化 | ⑤ 安全・安心なまちなか環境の維持・向上 |
| ② 清瀬らしい活力とにぎわいを生み出す商業・業務機能の維持・充実 | ⑥ 農や自然に触れ合える空間や機会の創出 |
| ③ 誰もがアクセスしやすくなる交通結節点機能の強化 | ⑦ 官民学が連携しながらまちづくりを推進する体制の構築 |
| ④ 憩い・交流・活動を生み出す環境や居心地が良く歩きたくなる歩行者動線の確保 | ⑧ 大学等の教育・研究機関や医療サービスの集積を活かしたまちづくりの推進 |

1 清瀬駅周辺のまちの姿

第2章で整理した『清瀬駅周辺のまちづくりの課題』を踏まえ、本ビジョンにおける清瀬駅周辺のまちの姿を下のように描きました。

清瀬駅周辺のまちを一体的に「**駅まちきよせ**」と呼称することにし、まちの「**ホッとリビング**」になることを目指します。

「**ホと**」には、駅まちきよせのにぎわいを連想させる「**ホット**」と、ゆとりや安心感を連想させる「**ほっと**」の2つの意味を込めました。「**リビング**」は、ひとりでも大切な人とでも、安全に、安心して生活することができる、くらしの中心となる場所です。

そして、これを実現させるためには「**みんなで育む**」ことが何よりも大切です。

「**みんなで育む ホとリビング 駅まちきよせ**」というまちの姿を掲げ、にぎわいとゆとりが調和したまちづくりを推進していきます。



まちづくりの課題

- ① 多様な世代が暮らしやすい居住機能の維持・強化
- ② 清瀬らしい活力とにぎわいを生み出す商業・業務機能の維持・充実
- ③ 誰もがアクセスしやすくなる交通結節点機能の強化
- ④ 憩い・交流・活動を生み出す環境や居心地が良く歩きたくなる歩行者動線の確保
- ⑤ 安全・安心なまちなか環境の維持・向上
- ⑥ 農や自然に触れ合える空間や機会の創出
- ⑦ 官民学が連携しながらまちづくりを推進する体制の構築
- ⑧ 大学等の教育・研究機関や医療サービスの集積を活かしたまちづくりの推進

ゆとりや安心感を連想させる「**ほっと**」!

清瀬駅周辺のまちの姿

みんなで育む **ホッとリビング** 駅まちきよせ

にぎわいを連想させる「**ホット**」!

きよせのくらしの中心となる場所!

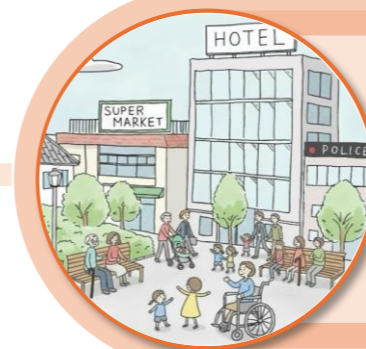
1 清瀬駅周辺のまちづくりの方向性

第2章で整理した『清瀬駅周辺の特性』を活かし、『まちづくりの課題』を解決するとともに、第3章で描いた『清瀬駅周辺のまちの姿』を実現するためのまちづくりの方向性を示します。

清瀬駅周辺のまちの姿

みんなで育む
ホッとリビング
駅まちきよせ

清瀬駅周辺のまちづくりの方向性



① まちの拠点機能を強化する

清瀬市におけるまちの中心拠点として、多様な世代が暮らし、働き、訪れる、にぎわいのあるまちとなるように、都市機能の適正配置、安全・安心な施設整備や活動推進、公共機能の活用や連携、憩いや潤い、にぎわいの場の確保を図り、まちの拠点機能を強化します。



② まちの交通機能を強化する

清瀬駅周辺は多様な人が行き交い、様々な交通が通行する結節点であることから、今以上に市内外へ安全・円滑にアクセスしやすいまちとなるように、駅前広場や道路、歩道等の基盤整備、駅の南北往来の安全性・利便性向上、放置自転車や路上駐車対策を図り、まちの交通機能を強化します。



③ まちの環境を維持向上するルールをつくる

清瀬駅周辺ならではの魅力を感じられる資源を活かし、良好でゆとりある環境を形成したまちとなるように、景観形成に資する誘導、沿道のにぎわい誘導、老朽化建物の更新誘導、クリーンで健幸につながる環境づくりを図り、まちの環境を維持向上するルールをつくります。



④ まちを動かす人や機会の仕組みをつくる

清瀬ならではのやさしさあふれる多様な人々がつながり、交流や活動を行うことで活力やにぎわいを創出したまちとなるように、プラットフォーム形成、若い世代のイベント推進や運営促進、ウォークブルな空間の創出・活用、商店街の創業・出店・利活用促進を図り、まちを動かす人や機会の仕組みをつくります。

2 清瀬駅周辺のまちづくりの取組

4つの『まちづくりの方向性』に向かって進むため、方向性ごとに取り組むべきことを整理しました。

1 まちの拠点機能を強化する

安全・安心で誰にとってもやさしい施設整備・活動の推進

誰にとってもやさしい拠点にするため、老朽化した建物の更新や防災・防犯機能の強化などによって安全を確保するとともに、子どもからお年寄りまで、すべての人へ安心を提供できる施設の整備や活動を推進します。

関連するまちづくりの課題：①②

商業・居住・業務・宿泊・観光機能の適正配置

駅前にふさわしい拠点機能の集積を促進するため、生活利便商業・サービス機能やウェルビーイングな居住機能、業務機能、宿泊機能、観光機能などの立地を誘導するとともに、複合化などによって利便性を高めます。

関連するまちづくりの課題：①②

憩い・潤い・にぎわいのある広場・オープンスペースの確保

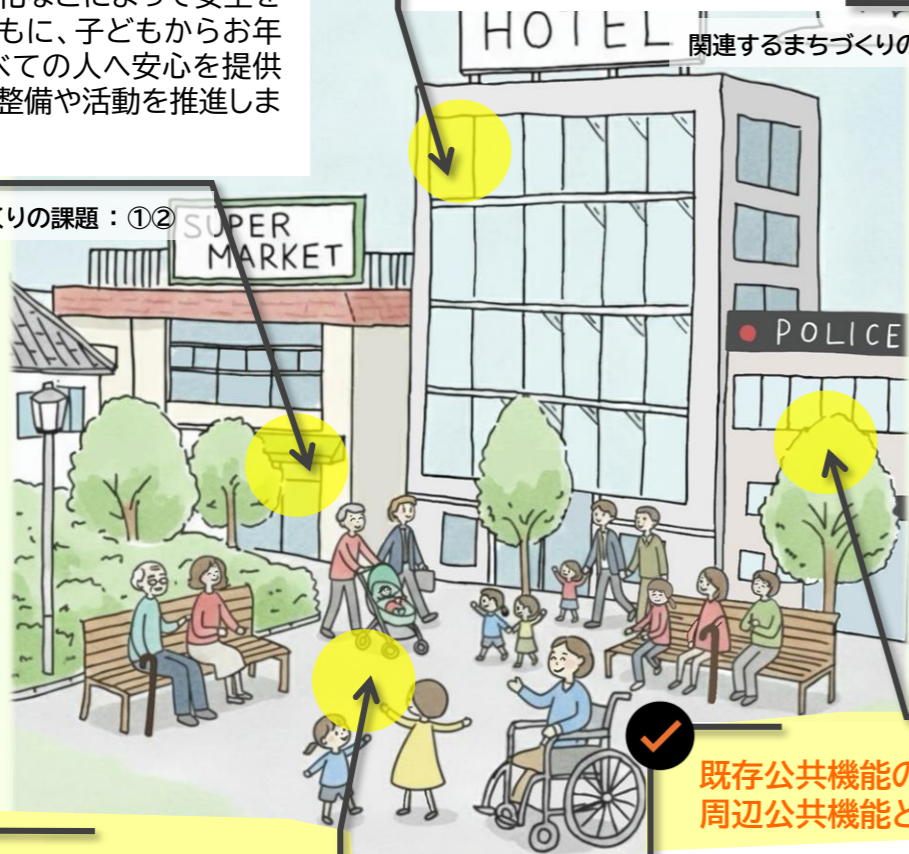
誰にとっても居心地のよい拠点にするため、憩い・交流・活動できる広場・オープンスペースの確保やストリートファニチャー、芝生や植栽などの設置を推進します。

関連するまちづくりの課題：④

既存公共機能の維持活用や周辺公共機能との連動

今ある拠点機能に対しさらに磨きをかけるため、市民協働プラザなどの既存公共機能の維持・活用を行うとともに、南部児童館等複合施設及び中央公園をはじめとした、周辺公共・公共的機能との連動を図ります。

関連するまちづくりの課題：①②④



2 まちの交通機能を強化する

駅前広場や都市計画道路の整備・更新とその事業推進

安全で利便性の高い交通機能を確保するため、南口駅前広場や都市計画道路の整備を推進するとともに、ニーズにあわせた北口駅前広場の更新を図ります。

関連するまちづくりの課題：③

放置自転車や路上駐車対策の推進

自転車や自動車のアクセス性と安全性を高めるため、駐車場や駐輪場等の必要規模の確保や、駐車マナーの改善や放置自転車対策を推進します。

関連するまちづくりの課題：③⑤

駅の南北往来の安全性確保や利便性向上

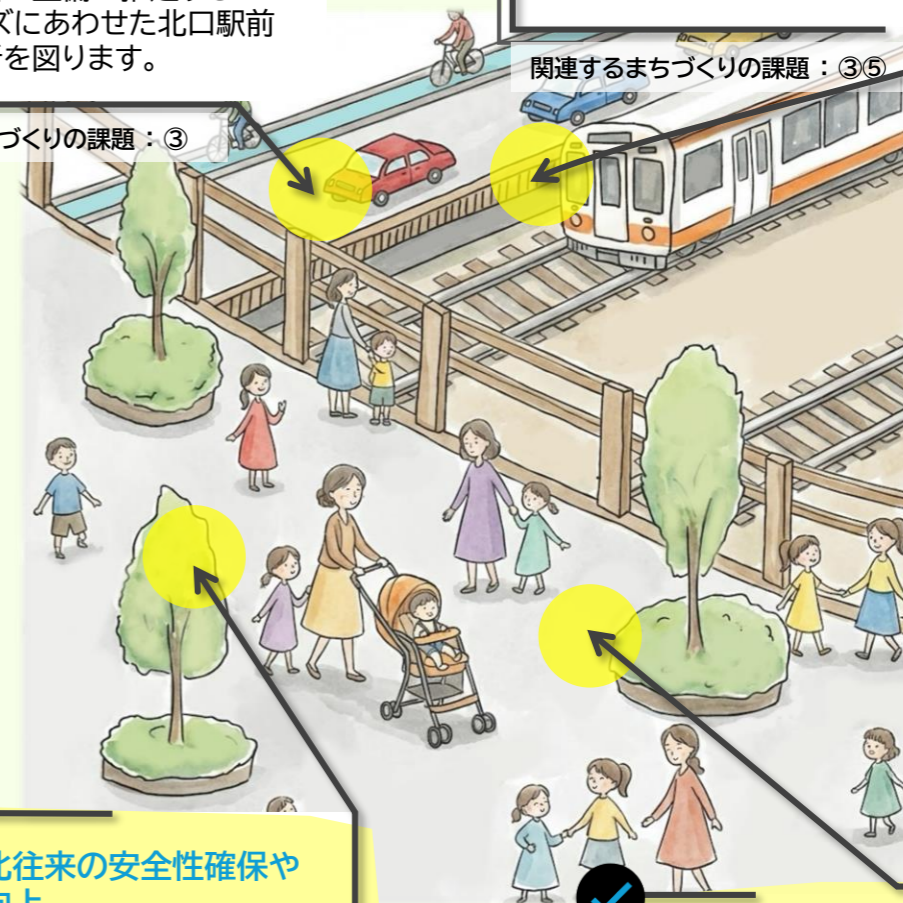
線路によって分断されている清瀬駅南北の交通を円滑化するため、踏切の安全性確保や歩行者アクセス性の向上など、駅の南北往来の安全性確保や利便性向上を図ります。

関連するまちづくりの課題：③④⑤

歩道整備などによるバリアフリーやユニバーサルデザインの推進

誰にとっても移動しやすい空間にするため、歩道の整備などによる歩車分離をはじめとした、駅及び周辺のバリアフリー化やユニバーサルデザインの推進を図ります。

関連するまちづくりの課題：④⑤



3 まちの環境を維持向上するルールをつくる

景観形成のルールづくり

良好でゆとりある景観を形成するため、沿道建物の1階部分を憩いやにぎわいに資する空間とすることやオープンスペースでの植栽設置、緑化の促進など、地域特性に応じた景観形成のルールづくりを推進します。

関連するまちづくりの課題：④⑤⑥

老朽化した建物の更新誘導

安全で魅力ある都市環境を実現するため、土地利用の方針や建築の誘導を通じて、段階的かつ計画的な建物の更新を促進します。

関連するまちづくりの課題：⑤

クリーンで健幸につながる環境づくり

きれいで心豊かな生活ができる環境づくりを実現するため、ごみのポイ捨て抑制や喫煙マナーの周知、公共交通や建築物において脱炭素化を促進するなど、公共マナーや生活環境の向上に向けた取組を推進します。

関連するまちづくりの課題：⑤

都市基盤整備と一体化した沿道におけるにぎわいの誘導

沿道空間の魅力と利便性を高め、にぎわいのある都市環境を実現するため、都市基盤整備と連動した空間の再構成や建築物の誘導を推進します。

関連するまちづくりの課題：④⑤

4 まちを動かす人や機会の仕組みをつくる

若い世代に魅力的で地域の発展に寄与するイベントの推進や主体的運営の促進

学生をはじめとした若い世代が地域に関わり、まちの活力を高めることを実現するため、公共空間等を活用した魅力的な活動やイベントの展開を推進するとともに、自らが主体的に運営や活動ができるよう促進を図ります。

関連するまちづくりの課題：⑦⑧

商店街のにぎわい創出に繋がる創業・出店・利活用の促進

にぎわいを創出するため、昔ながらの商店街の魅力を維持するとともに、新しく創業・出店する人材の支援や、空き店舗等の利活用を推進します。

関連するまちづくりの課題：④⑦

ウォークラブルな空間等の創出・活用に向けた取組

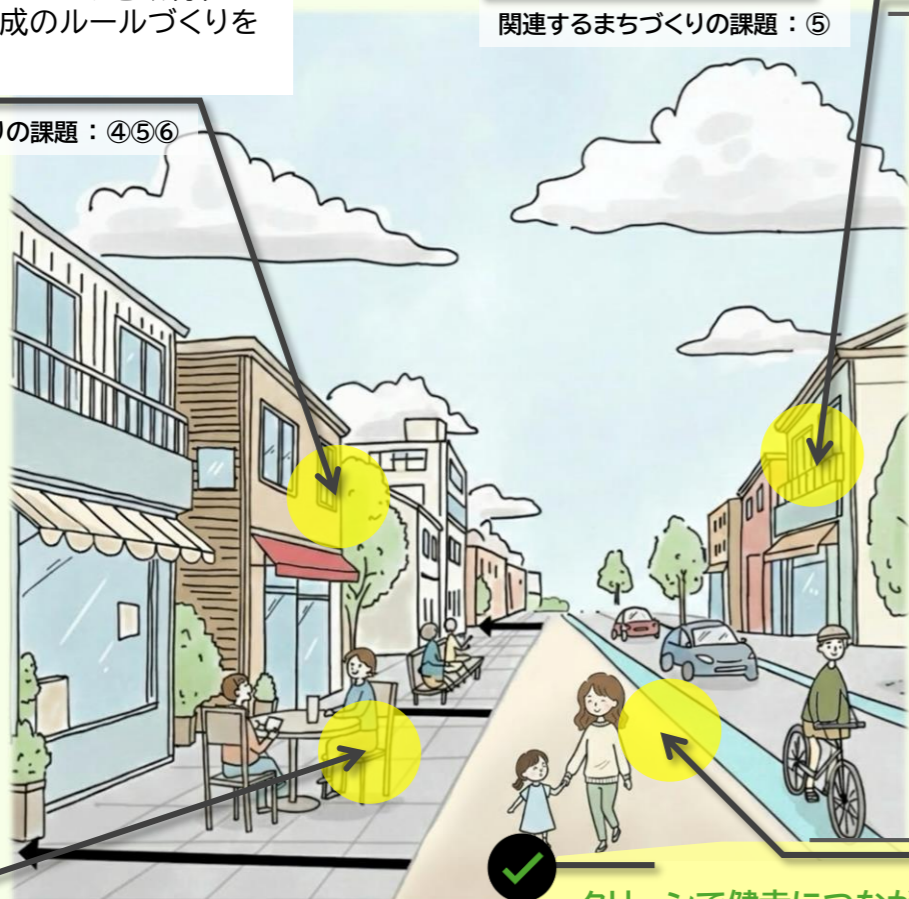
歩いて楽しい、歩きたくなる空間を創出するために、道路空間をにぎわい創出に活用できる仕組みの導入を推進します。また、空間を利用したマーケットや、農や自然に触れ合える機会の創出、健康増進に繋がるイベントやキャンペーンなどの開催を推進します。

関連するまちづくりの課題：④⑥⑦⑧

まちの主体・関係者連携を促す地域のプラットフォームの形成

地域の多様な主体が連携し、持続的なまちづくりを実現するため、関係者が協働できる仕組みや対話の場となる地域のプラットフォームの形成を推進します。

関連するまちづくりの課題：⑦



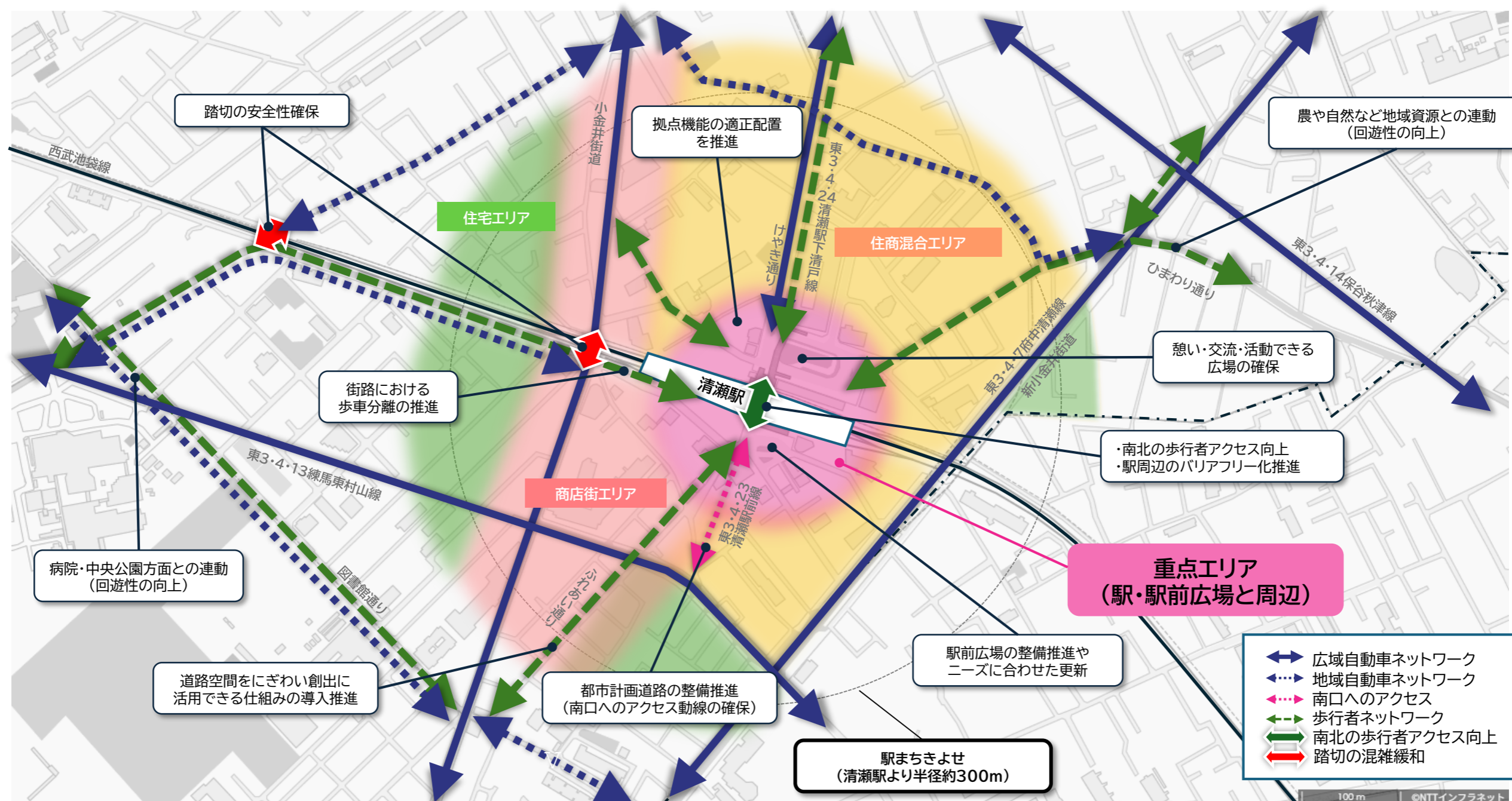
3 清瀬駅周辺のまちづくりのイメージ

清瀬駅周辺のまちの姿の実現に向け、まちづくりの方向性と取組のイメージを分かりやすく伝えるため、いくつかの取組例について整理しました。

また、まちの「骨格」を示すため、清瀬市都市計画マスタープランの「清瀬駅周辺地域の都市づくり方針図」を基本としながら、交通ネットワークからみた各エリアの立地特性、土地利用

現況などを踏まえ、まちづくりの方針を「ネットワーク」と「エリア」で表現しました。骨格の中心となる清瀬駅、駅前広場とその周辺を「重点エリア」と位置づけ、各取組の起点とします。さらに、必要な自動車ネットワークを確保しながら、「重点エリア」を起点として各方面へ広がる歩行者ネットワークを位置づけることで、人中心のにぎわいとゆとりのある空間や動線を確保します。

清瀬駅周辺のまちづくりのイメージ図



※詳細な実施内容や場所については、今後の検討の中で具体化します。

1 適切な手順や手法によるまちづくりの推進

(1) 駅前広場や都市計画道路の整備・更新計画の推進

駅を中心とした拠点機能や交通機能の強化のため、市ではより具体的な清瀬駅周辺のまちづくりの方針を検討するとともに、駅前広場を含む都市計画道路の整備・更新に向けた計画を推進していきます。また、清瀬駅周辺の利便性向上のため、鉄道事業者と連携を図ります。

(2) 官民学連携によるまちづくりの推進

にぎわいと清瀬らしい魅力ある空間の実現のためには、市民と、民間事業者、行政、教育・研究機関などが互いに連携・協働して取り組むことが重要です。民間のまちに資する多様な取組を支援・促進するため、エリアプラットフォームの組成によるまちづくりの担い手の確保やネットワークの構築等といった官民学連携によるまちづくりを推進します。



▲ エリアプラットフォームのイメージ (出典:国交省)

(3) 地域実情に即した手法の選択と導入

取組を着実に実行していくために、地区計画の策定や市街地再開発事業の推進など、地域の実情に即した最適な事業手法を選定・導入します。

また、道路空間や駅前広場の有効活用を図るため、「歩行者利便増進道路制度(通称:ほこみち)」等の導入を検討し、道路空間を活用したイベントやエキシビジョンを行うなど、継続的ににぎわいの創出につながる取組を推進します。

なお、取組は一朝一夕に実現するものではないため、社会実験などを通じて実現可能性を検証しながら、段階的かつ着実に推進していきます。



▲ ほこみちのイメージ (出典:国交省)

2 未来構想ビジョンの取り扱い

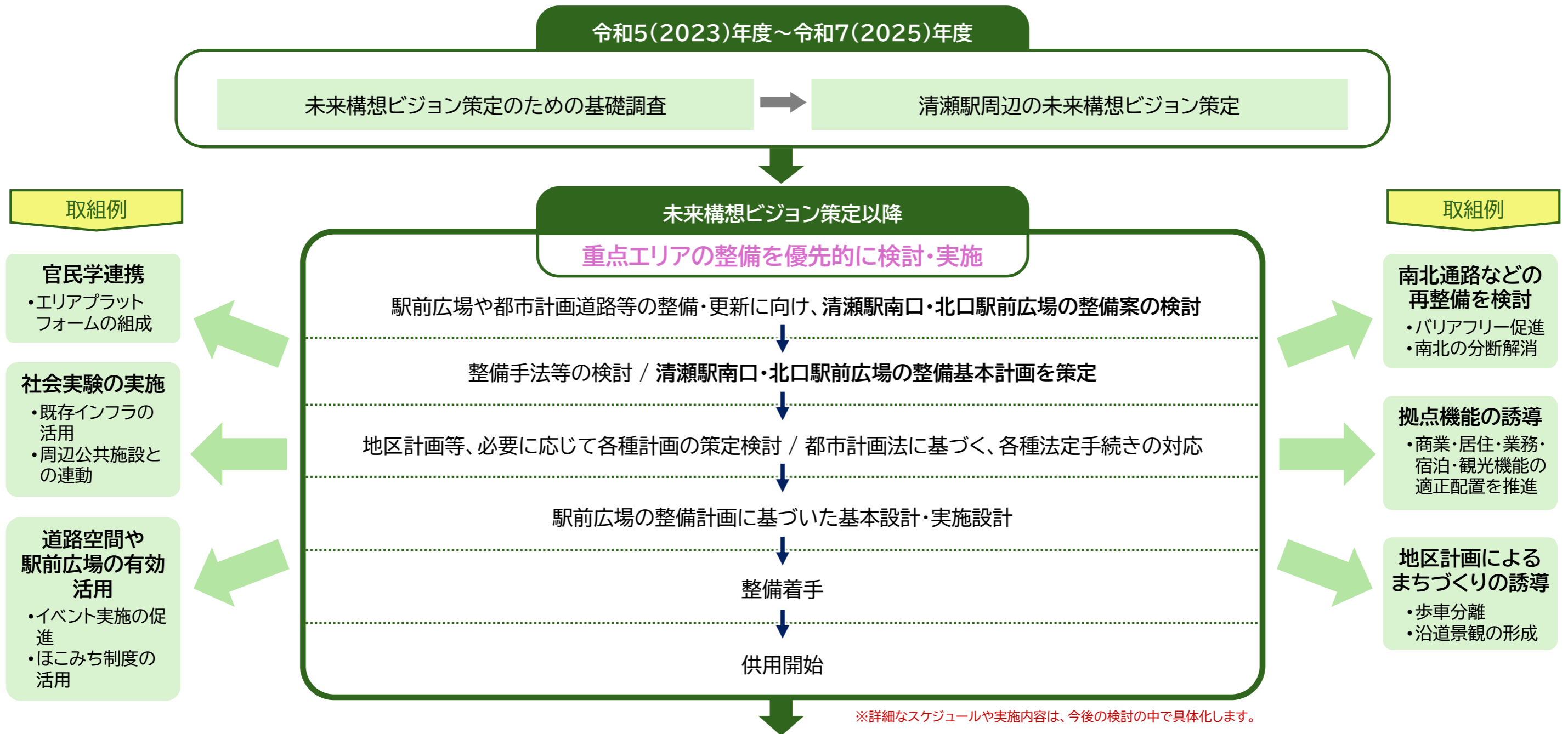
未来構想ビジョンは、今後概ね30年間で検討を進めていく長期的なビジョンであり、その実現に向けてはPDCAサイクルに基づき、適切な進行管理を行っていきます。また、本ビジョンは、現時点における清瀬駅周辺のまちづくりにおいて、目指すべき将来像や方向性を示すものです。今後、まちづくりの進展状況や社会経済の変化を踏まえ、ビジョンの妥当性を検証し、地域の皆さまの意見を十分に反映させながら、必要に応じて柔軟に見直しを行います。さらに、示された将来像や方向性に基づき、市では取組内容を具体化・深化させ、実現可能な施策から順次着手していきます。



▲ PDCAサイクルによる適切な進行管理イメージ

3 今後の進め方

未来構想ビジョンの策定を受けて、今後は重点エリアの整備を優先的に検討・実施していきます。また、それに続くように個別の取組についても順次検討を行い、清瀬駅周辺のまちの姿の実現を図ります。



清瀬駅周辺のまちの姿

みんなで育む **ホッとリビング** 駅まちきよせ

の実現へ

1 用語の解説

あ行

●インバウンド

外から入ってくる旅行、一般的に訪日外国人旅行のこと。

●ウェルビーイング

身体的・精神的・社会的に良い状態にあることをいい、短期的な幸福のみならず、生きがいや人生の意義などの将来にわたる持続的な幸福を含む概念。

多様な個人がそれぞれ幸せや生きがいを感じるとともに、個人を取り巻く場や地域、社会が幸せや豊かさを感じられる良い状態にあることも含む包括的な概念。

●ウォーカブル

「歩く」を意味する「ウォーク(walk)」と「できる」の「エイブル(able)」を組み合わせた造語。歩きやすい・歩きたくなるなどの意味で使われる。

●駅まちデザイン

利便性・快適性・安全性・地域性の高いゆとりある「駅まち空間」の形成を目指して、関係者が連携して、ビジョンづくり・計画策定・整備・維持管理に至るまでの一連のプロセスに関する考え方や進め方のこと。

●エリアプラットフォーム

行政をはじめ、まちづくりの担い手であるまちづくり会社・団体、まちづくりや地域課題解決に関心がある企業、自治会・町内会、商店街・商工会、住民・地権者・就業者などが集まって、まちの将来像を議論・描き、その実現に向けた取組(=まちづくり)について、協議・調整を行うための場。

●オープンスペース

公園、広場、河川、農地など、建物によって覆われていない土地又は敷地内の空地の総称。

か行

●官民連携

公共施設等の建設、維持管理、運営等を行う行政と民間が連携して行うことにより、民間の創意工夫等を活用し、財政資金の効率的な使用や行政の効率化等を図るもの。

●健幸

「健康」と「幸福」の二つの意味が込められた言葉。

さ行

●市街地再開発事業

市街地内の、土地利用の細分化や老朽化した木造建築物の密集、十分な公共施設がないなどの都市機能の低下がみられる地域において、土地の合理的かつ健全な高度利用と都市機能の更新を図る事業のこと。

●市街地整備2.0

従来の「行政が中心となって公共空間確保・宅地の整形化・建物の不燃共同化を大規模に志向した開発」から、「公民連携でビジョンを共有し、多様な手法・取組を組み合わせ、エリアの価値と持続可能性を高める更新」へ転換すること。

●ストリートファニチャー

街路や広場などに置かれるベンチ・案内板・水飲み場などの屋外装置物の総称。

●スローツーリズム

地域の食材や食文化、伝統文化や技術、美しい景観などの魅力を体験し、ゆっくり楽しんでもらう新しい観光の旅。

た行

●多摩部19都市計画都市計画区域の整備、開発及び保全の方針

都市計画区域の整備、開発及び保全の方針は、都市計画区域マスタープランとも呼ばれ、都市計画法第6条の2に基づき、都道府県が広域的見地から定める都市計画の基本的な方針のこと。多摩部19都市計画都市計画区域の整備、開発及び保全の方針は東京都が平成26年12月に改定した。都市計画区域における土地利用、都市施設の整備、市街地開発事業などの都市計画及び都市計画法第18条の2に基づく区市町村の都市計画に関する基本的な方針(区市町村マスタープラン)は、この都市計画区域マスタープランに即して定められる。都市計画区域マスタープランは、広域的な一体性を確保する上で配慮すべき事項について定め、区市町村マスタープランでは、地域に密着した都市計画に関する事項について定めるとされている。

●地区計画

地区の特性に合わせたきめ細かいまちづくりを進めるため、住民参加によって、区画道路、公園などの配置や建築物の用途、高さ、壁面の位置、敷地の規模などを地区のルールとして定める都市計画法上の制度。

●都市基盤整備

都市の機能や住民の生活を支える道路、公園、下水道、鉄道、港湾などの基礎的なインフラを計画的かつ面的に整備することである。土地の区画整理やインフラ更新により、生活環境の向上、安全性の確保、都市の経済活性化を目的として行われる。

●都市計画道路

都市の骨格を形成し、安全で安心な市民生活と機能的な都市活動を確保する、都市交通における最も基幹的な都市施設として都市計画法に基づいて都市計画決定された道路のこと。

●都市計画マスタープラン

都市計画法第18条の2に定められた「市町村の都市計画に関する基本的な方針」であり、市の最上位計画である長期総合計画の基本構想に掲げる将来像を都市計画の視点から実現するためのものと位置づけられるほか、東京都が策定する「都市づくりのグランドデザイン」や「多摩部19都市計画 都市計画区域の整備、開発及び保全の方針」に即して作られるものこと。

●都市づくりのグランドデザイン

平成28年9月に東京都都市計画審議会から出された答申「2040年代の東京の都市像とその実現に向けた道筋について」を踏まえ、2040年代の目指すべき東京の都市像とその実現に向けた、都市づくりの基本的な方針と具体的な方策を示した計画。

は行

●バリアフリー

障害のある人々が社会生活をしていく上で障壁となっているものを除去すること。段差の解消など、建築物内部や都市空間における障壁や社会的、制度的、心理的障害を除去し、障害者が自由に社会参加できるようなデザインとすること。

●歩行者利便増進道路制度(ほこみち)

道路管理者が歩道の中に、「歩行者の利便増進を図る空間」を定めることができる。(空間活用に関する関係者との調整が円滑に進むことが期待される。)

●歩車分離

歩行する空間と自動車が走行する空間を分離すること。

ま行

●まちづくりDX

豊かな生活、多様な暮らし方を支える「人間中心のまちづくり」の実現のため、基盤となるデータ整備やデジタル技術の活用を進め、都市における新たな価値創出又は課題解決を図ること。

や行

●ユニバーサルデザイン

能力や障害の程度に関わらず、高齢者や障害者、子どもなどすべての人が利用しやすいように製品や空間をデザインすること。

ABC

●AI

Artificial Intelligence の略。人工知能のことで、人間の脳が行っている知的な作業をコンピュータで模倣したソフトウェアやシステム。人間の使う自然言語を理解したり、論理的な推論を行ったり、経験から学習したりするコンピュータプログラムなどのことをいう。

●IoT

Internet of Things の略。コンピュータなどの情報・通信機器だけでなく、世の中に存在する様々な物体(モノ)に通信機能を持たせ、インターネットに接続したり相互に通信することにより、自動認識や自動制御、遠隔計測などを行うこと。

●SDGs(持続可能な開発目標)

2001年に策定されたミレニアム開発目標(MDGs)の後継として、2015年9月の国連サミットで加盟国の全会一致で採択された「持続可能な開発のための2030アジェンダ」に記載された、2030年までに持続可能でよりよい世界を目指す国際目標。17のゴール・169のターゲットから構成され、地球上の「誰一人取り残さない(leave no one behind)」ことを誓っている。

●Wellness

包括的な健康状態に繋がる活動、選択、ライフスタイルを追求すること。身体的な健康だけでなく、精神的、感情的、社会的に健康で安心な状態のこと。

2 検討の経過

(1) 清瀬駅周辺の未来構想ビジョン策定に向けたまちづくり協議会

本書を策定するにあたり清瀬駅周辺のまちの将来像や実現方法等について意見交換を行い、幅広く検討するため、清瀬駅周辺の未来構想ビジョン策定に向けたまちづくり協議会を設置し、全5回開催しました。

開催概要は下表の通りです。

▼ 実施概要

清瀬駅周辺の未来構想ビジョン策定に向けたまちづくり協議会	
第1回	<p>日時： 令和7(2025)年4月22日(火) 19時～21時 場所： 清瀬市生涯学習センター 主な議題： ・ 協議会の目的・背景・検討スケジュール ・ 清瀬駅周辺のまちづくりに向けたこれまでの検討 ・ 清瀬駅周辺の課題と強みの分析(再検討) ・ 意見交換</p>
第2回	<p>日時： 令和7(2025)年6月19日(木) 19時～21時 場所： 清瀬けやきホール 主な議題： ・ 駅周辺における各エリアの特性と課題の説明 ・ 駅周辺における各エリアの特性と課題の確認(ワークショップ) ・ 駅周辺におけるまちの特性と課題に対する取組の議論(ワークショップ) ・ 発表・まとめ</p>
第3回	<p>日時： 令和7(2025)年8月26日(火) 19時～21時 場所： 清瀬市生涯学習センター 主な議題： ・ 清瀬駅周辺の未来構想ビジョン骨子の説明 ・ 清瀬駅周辺のまちづくりの将来像について説明・議論 ・ 市民参画のまちづくりについて意見交換</p>
第4回	<p>日時： 令和7(2025)年11月13日(木) 19時～21時 場所： 清瀬市生涯学習センター 主な議題： ・ ビジョン素案作成の経緯(将来像と取組内容について) ・ 清瀬駅周辺の未来構想ビジョン(素案)の説明と意見交換</p>
第5回	<p>日時： 令和8(2026)年3月6日(金) 19時～21時 場所： 清瀬市男女共同参画センター 主な議題： ・ パブリックコメントの結果について ・ パブリックコメントの意見に対する回答とビジョンへの反映について ・ 【最終版】清瀬駅周辺の未来構想ビジョンについて ・ 今後のスケジュールについて</p>

(2) 清瀬駅周辺の未来構想ビジョン策定に向けた清瀬市庁内検討会議

本書を策定するにあたり内容を検討するため、清瀬駅周辺の未来構想ビジョン策定に向けた清瀬市庁内検討会議を設置し、全5回開催しました。

開催概要は以下の通りです。

▼ 実施概要

清瀬駅周辺の未来構想ビジョン策定に向けた清瀬市庁内検討会議	
第1回	日時： 令和7(2025)年1月30日(木) 10時～
第2回	日時： 令和7(2025)年5月29日(木) 10時～
第3回	日時： 令和7(2025)年7月29日(火) 13時半～
第4回	日時： 令和7(2025)年9月30日(火) 11時～
第5回	日時： 令和8(2026)年2月24日(火) 15時～

▼ 会議を構成する課

(1)	未来創造課(事務局)
(2)	防災防犯課
(3)	環境課
(4)	産業振興課
(5)	市民協働課
(6)	福祉総務課
(7)	子育て支援課
(8)	健康推進課
(9)	介護保険課
(10)	都市計画課
(11)	道路交通課
(12)	水と緑と公園課

3 まちづくり協議会での検討の様子

(1) まちづくり協議会での議論の様子

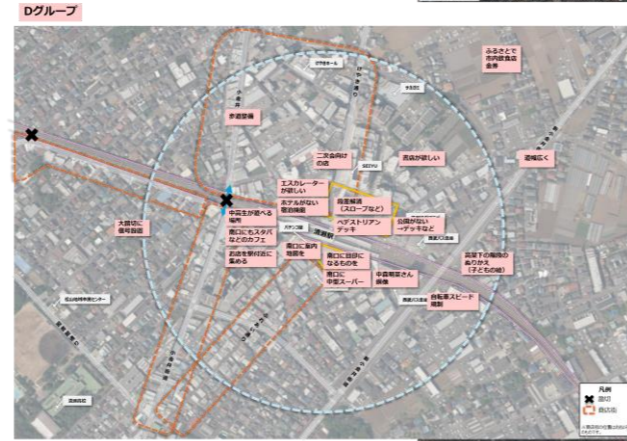
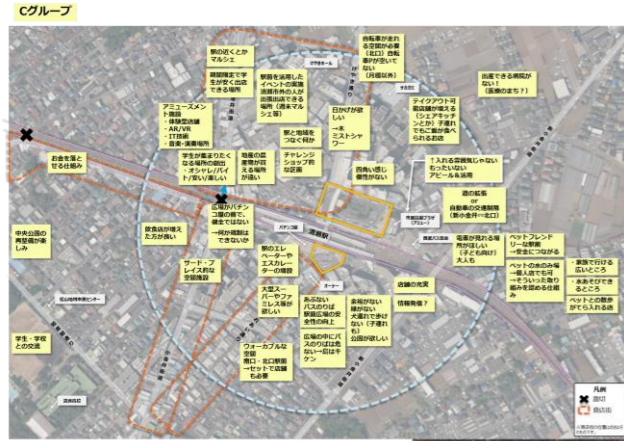
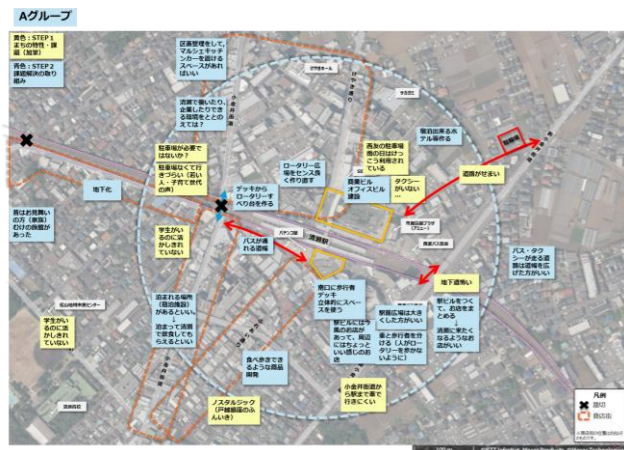
開催日	2025年6月19日(木) 19:00~21:00
開催場所	清瀬けやきホールセミナーハウス(1階)
ワーク内容	【STEP1】 駅周辺における各エリアの特性と課題の確認 【STEP2】 駅周辺におけるまちの特性と課題に対する取組について議論 【STEP3】 発表・まとめ



▲ 写真 議論風景



▲ 写真 発表風景



▲ 図 A~Dグループに分かれ、大判地図を囲って議論

(2) まちづくり協議会での議論のまとめ

まちづくり協議会で出していただいた付箋の意見をもとに、機能別・種類別に分類しました。

商業機能系

- お店を駅付近に集める
- テイクアウト可能店舗が増える(シェアキッチンとか)子連れでもご飯が食べられるお店
- 南口にもスタバなどのカフェ
- 飲食店が増えた方がよい
- 南口に中型スーパー
- 大きいスーパー
- 大型スーパーやファミレス等が欲しい
- 駅ビルをつくって、お店をまとめる
- ↓
- 清瀬に来たくなるようなお店がいい
- 店舗の充実
- 若い人が気軽に入れるお店
- ペットとの散歩がてら入れる店
- 駅ビルには今風のお店があって、周辺にはちょっといい感じのお店
- 二次会向けの店
- ペットの水のみ場→個人店でも可
- そういった取り組みを認める仕組み
- 書店が欲しい
- 家族で行ける広いところ
- 中高生が遊べる場所
- アミューズメント施設
- 体験型店舗
- AR/VR
- IT技術
- 音楽・演奏場所

宿泊機能系

- ホテルがない。宿泊機能
- 昔はお見舞いの方(家族)むけの旅館があった
- 宿泊出来るホテル等作る
- 泊まれる場所(宿泊施設)があるといい。
- ↓
- 泊まって清瀬で飲食してもらえるといい
- ホテルの誘致

公共機能系

- ロータリー広場をセンス良く作り直す
- 駅前広場は大きくした方がいい
- 中央公園の再整備が楽しみ
- 市民協働プラザ(アミュー)
- ↑
- 入れる雰囲気じゃない。もったいない。アピール&活用

バス系

- バス・タクシーが走る道路は道幅を広げた方がいい
- バスが通れる道幅
- 広場の中にバスのりばは危ない→島はキケン
- あぶない。バスのりば。駅前広場の安全性の向上

歩行者系

- 公園がない
- デッキなど
- 駅のエレベーターやエスカレーター増設
- エスカレーターが欲しい
- 小金井街道から駅まで車で行きにくい
- ペDESTリアンデッキ、段差解消(スロープなど)
- 駅南北をつなぐデッキ、大踏切からのぼれる
- 地下道怖い
- 南北のデッキ化(立川駅、新宿西口)応急として信号の設置や時間通行
- 南口に案内地図を
- 歩道整備
- 南口に歩行者デッキ。立体的にスペースを使う
- ペットフレンドリーな駅前
- 安全につながる
- 自転車が走れる空間が必要(北口)自転車Pが空いてない(月極以外)
- 車と歩行者を分ける(人がロータリーを歩かないように)
- 自転車スピード規制
- デッキからロータリーすべり台を作る
- 高架下の階段のぬりかえ(子どもの絵)

自動車系

- 駐車場が必要ではないか?
- 必ず止められる大きな駐車場
- 駐車場なくて行きづらい(若い人・子育て世代の声)
- パーキングチケット
- 西友の駐車場、雨の日にはけっこう利用されている
- 地下化
- タクシーがない
- 北口の島の活用(タクシープールの廃止)
- 道の拡張 or 自動車の交通制限(新小金井⇄北口)個人店でも可
- 大踏切に信号設置
- 道幅広く
- 駅前広場に入れる道路
- 小金井街道の信号のタイミング
- 右折レーン、時差式信号(新小金井街道)
- 信号

業務機能系

- 清瀬で働いたり、起業したりできる環境をととのえては?
- 商業ビル・オフィスビル建設
- チャレンジショップ的な区画

目的地機能系

- 南口に目印になるものを
- ランドマーク

凡例: ●Aグループ ●Bグループ ●Cグループ ●Dグループ

4 各所でのアンケート、インタビュー実施の様子

(1) 意見収集の概要

清瀬駅周辺の未来構想ビジョンの策定にあたり、より多くの方にご意見をお伺いし、計画策定の参考にすることを目的に、各所でインタビューやアンケートを実施しました。

▼ 意見収集の概要

意見収集先	人数	方法	日にち・場所
市内障害者施設	109名 (回答数)	7つの施設 ^(※) にアンケート	9月18日送付～10月31日 ※時期は施設によって若干のばらつき有
清瀬視覚障害者グループあかり	10名	インタビュー	9月25日 @生涯学習センター
清瀬高等学校	授業: 40名×2クラス アンケート: 106名 (回答数)	清瀬市とのコラボ授業を企画 公民の授業の中でワーク シヨップ、 校内アンケート	10月6日 @清瀬高校 10月6日～10月17日 (アンケート)
市民まつり	不特定多数	未来創造課ブースにて シールアンケート	10月19日 @市民まつり会場
女性起業支援団体の関係者	6名	インタビュー	10月21日 @パンカフェ くう
清瀬市児童センター ころぼっくる	30名程	小学生、中高生の「子ども 会議」でシールアンケート、 質問BOXの設置	10月23日、10月25日 @ころぼっくる

- (※)障害者施設
 ①まりも会 清瀬療護園
 ②子どもの発達支援・交流センター
 ③椎の木会
 ④清瀬育成園ひだまりの里きよせ
 ⑤清瀬わかば会
 ⑥障害者福祉センター
 ⑦清瀬聖ヨハネケア・ビレッジ

(2) 『市内障害者施設・清瀬視覚障害者グループあかり』意見まとめ

■ 質問内容①：現在の清瀬駅周辺の問題点や課題

交通の視点

- 道路やロータリーに段差やでこぼこが多く、つまづきやすい
- 車道、歩道ともに狭い、白線が薄くなっている箇所がある
- 駅にエスカレーターがない
- エレベーターがあっても小さいし、いつも混雑している。車いすでも乗りづらい
- 北口の通路とペDESTリアンデッキの間に段差があり、特に車いす利用者には不便
- 車いす利用者にとっては、駅前広場が十分な広さではなく、段差もあり移動しづらい
- 南北の往来が大変(特に車いす利用者)
- 信号を渡るのが怖い
- 駅前広場で駐車して、時間をかけてゆっくり乗り降りできるスペースがない(特に上肢・下肢に障害があったり、車いす利用者の場合は不便)
- 送迎時に一時駐車できる場所が少なく、路上駐車をせざるを得ない
- タクシー乗り場の段差が困る
- 大踏切の横断に苦労する(特に視力障害があると一人では怖くて渡れない)
- けやきホール前の道に歩道がないので一人で歩くのが怖い
- 南口のバス停は島に人が乗り切れていない。視覚障害があると島まで行くのも怖い
- エレベーターのボタンがわかりづらい
- 南口商店街に、点字ブロックがない
- 駅前広場の点字ブロックの上に自転車を止められており、安全に歩けない

施設・商業の視点

- 病院や薬局等が多く、楽しいお店が少ない
- お店が点在している
- トイレが少ない
- 待ち合わせできるスペースや広場がない
- 西友の市の駐車場が狭くて使いにくい
- 障害者を受け入れ可能な病院が少ない

環境・マナーの視点

- ペDESTリアンデッキのベンチを占拠している人がいる
- スーパーのカートを駅まで持ってきたり、マナー違反が気になる
- みどりが少なく、日陰が少ない

その他

- タクシーがなかなか来ないことが多い
- バスの列がわかりづらい
- 駅にホームドアがない(病気の症状によって安全確保が自分でできなくなる時がありホームドアがないと危険)

(2) 『市内障害者施設・清瀬視覚障害者グループあかり』意見まとめ

■ 質問内容②：今後、清瀬駅周辺に必要なと思う取組・施設・機能など

交通の視点

- 駅にエスカレーターがほしい
- 車いすやベビーカーの利用者も多いため、エレベーターを広くする
- 南口周辺がごちゃごちゃしていて歩きづらいので整備してほしい
- 歩車分離、自転車は車道に広く作り、安全な道路にしてほしい
- ペDESTリアンデッキの階段を解消し、スロープを作ってアクセスを良好に
- バス停留所を広くしてほしい
- 送迎時に、ゆっくり車から乗り降りできる駐車スペース・障害者用乗降場の確保
- 音響式信号機をつけて安心して信号を渡りたい
- ペDESTリアンデッキに上がる階段にもエスカレーターが必要
- 大踏切が安全に渡れるようにしてほしい。特に視力障害があると2人並んで歩けるエスコートゾーンの確保も必要。
- 視覚障害者の中でも、全盲より弱視の人が多く⇒点字が読めなかったり白杖も使わない人も多いので、点字以外の何かで導く工夫が必要
- 点字が環境に馴染みすぎて機能していないので、目立たせる
- 商店街の道にも工夫次第で点字を設置することが可能(路肩に細い点字等)

施設・商業の視点

- もう少し大きなスーパーがほしい
- 商店街のお店が充実してほしい
- 子どもが遊べる広々とした室内の遊び場があるといい
- 近隣駅にあるような駅ビルや商業機能の充実
- 障害者も利用できるジム等の施設
- 空き地の活用
- 飲食店、レストラン街の充実
- 大きなベットの備えた多目的トイレ
- ゆとりのある空間にベンチを置いて休憩スペースやにぎわいを作る
- 駅周辺に出張所がほしい(障害者は一人でコンビニ手続きや市役所まで行くのが困難な場合がある)
- お年寄り、学生などが気軽に集まっておしゃべりできる場所がほしい

その他

- 障害への理解が深まる優しいまちになってほしい
- 人によるサポート体制や大きな案内所がほしい
- 案内表示の充実、音声誘導表示があるといい
- 駅にホームドアを設置してほしい

(3) 『清瀬高等学校』意見まとめ

■ 質問内容①：現在の清瀬駅周辺の問題点や課題

交通の視点

- 道路が狭く、車と歩行者の距離が近い
- 自転車で通学してるとき車とぶつかりそうになり身の危険を感じる
- 南北の往来がしづらい
- 歩道や自転車専用道路がない、ガードレールがない
- 階段が長いのに、駅にエスカレーターがない
- 大踏切は車の流れが多く、歩行者が渡りにくい
- 駅前広場の地面がでこぼこしている
- 南口ロータリーにバスや車が入りづらい
- 交通量があるのに横断歩道に信号がない

施設・商業の視点

- ファミリーレストランが少ない
- トイレが汚い
- 清瀬駅が最寄りの高校が複数あるのに、若い世代が集える場所や空間がない
- 駅周辺で友達と遊べる場所が少ない(カラオケはあるけど…)
- 駐輪場が少ない
- 店舗が小さくて入りづらい(満員で入れず諦めることもある)
- 座れる場所がない
- 駅の近くに大型商業施設がない
- 本屋がない

環境・マナーの視点

- 街灯が少なく道が狭いので特に夜が危ない
- 全世代に優しいような駅周辺になっていない
- 南口商店街付近で一時駐車している車がいる(荷捌き等で仕方ないかもしれないが、緊急車両がいたら通りづらい)
- 夜、たまっている人達が居て怖い

その他

- 移動で使う場所という以外に、遊びや憩いの場としての機能が乏しい
- 全体的に暗く、古い印象
- わざわざ清瀬に行こうと思うものがない

(3) 『清瀬高等学校』 意見まとめ

■ 質問内容②：今後、清瀬駅周辺に必要なと思う取組・施設・機能など

交通の視点

- 道路の幅を拡張してほしい
- 歩道や自転車専用道路を整備してほしい
- 駅にエスカレーターがほしい
- 階段を上らずに、南北を行き来したい
- 小さい横断歩道でも信号機を設置する(例:パチンコ屋とドラッグストアの間に信号がほしい)

環境・マナーの視点

- 南口に喫煙所を作る。喫煙所以外での喫煙をやめてほしい

その他

- 学割がある場所やお店があると学生は行きやすい
- 清瀬駅に急行がとまると嬉しい
- 公共施設の利用時間の延長
- 商店街でイベントをしたら、人が集まると思う

施設・商業の視点

- 放課後に寄れる娯楽施設を増やす(ゲームセンター、プリクラ機、映画館等)
- ファミリーレストランやチェーン店を増やす(特にサイゼリヤが安くて学生の味方)
- 大型ショッピングセンターや広いフードコートがほしい
- 誰でも利用しやすい施設、勉強できる施設がほしい
- 図書館の学習スペースの拡大
- 若者向けのアパレルや雑貨屋(市外からも人が集まりそう)
- 映えスポットをつくる
- 本屋やレンタルショップがほしい
- 夏は涼しくて、冬は暖かい、休憩ができる場所

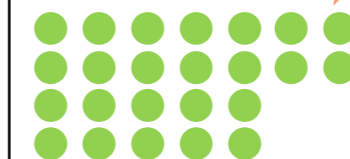
(4) 『市民まつり』 シールアンケートまとめ

■ 質問内容①：現在の清瀬駅周辺の問題点や課題

駅前のロータリーはバスと車が混在していて、歩くのが危険！



公園や広場など、ゆったりできる場所がない！



バスや車が多くて踏切を渡るのが危険！



若い世代に魅力的なお店がない！



目的がないからわざわざ駅周辺に行かない！



その他

- タクシーがつかまらない
- エスカレーターがない
- 地上の駐輪場がない

■ 質問内容②：今後、清瀬駅周辺に必要なと思う取組・施設・機能など

歩行者も車も誰もが安全に動ける道になってほしい！



遊べたり休んだりできる広場やスペースがほしい！



駅前で何でもそろそろ便利なお店がほしい！



駅周辺でお祭りやイベントをやってほしい！



子どもや家族、友達と安心してあそべる施設がほしい！



その他

- 地上の駐車場
- 高齢者が集える場所

(5)『女性起業支援団体の関係者』意見まとめ

■ 質問内容①：現在の清瀬駅周辺の問題点や課題

交通の視点

- 通勤や通学時に通行量が増えるタイミングだと、歩行者・自転車・車が混在して危険。利用者数と道幅が見合っていない
- 南口の道路や歩道が狭く、歩道は傾いている箇所もある
- 線路沿いの歩道が狭くすれ違いもできない、お散歩にも不向きな道
- 大踏切の歩道が狭く危ない
- 通学路でも冠水する部分があり大雨時には迂回しなくてはならない場合がある
- 歩道が隆起していたり、小さな穴が開いていたり、特にお年寄りには危険
- 段差が多く、車いすやベビーカーでの通行が困難な場所が多い
- 駅にエスカレーターがない（特にお年寄りや車いす利用者、ベビーカー利用者、妊婦さんにとって不便）
- エレベーターが南北1か所で、点検時等には車いすの方が駅に上がる手段がない
- 歩道橋がなくなり、南北を渡る手段が少ない。
- 新小金井街道のアンダーパスは、夜は暗くて歩くのが怖い

施設・商業の視点

- 駅前に公園がない
- 南口のOKストアの前に自転車があふれている

環境・マナーの視点

- 特に南口駅前には汚いイメージがある
- 南口エレベーターが人目のない奥まった場所にあり暗くて怖い
- 南口は治安が悪く、夜に集団でたまっている大人に声をかけられて怖い
- 街灯が少ない
- ペDESTリアンデッキのベンチを占拠している人がいる（ベンチがあるのはいいが、治安悪化の懸念あり）
- 日陰が少なく夏は日差しが暑い

■ 質問内容②：今後、清瀬駅周辺に必要なと思う取組・施設・機能など

交通の視点

- 駅にエスカレーターがほしい
- 道路のでこぼこを直してほしい

環境・マナーの視点

- 駅前にみどりや木があるといい

施設・商業の視点

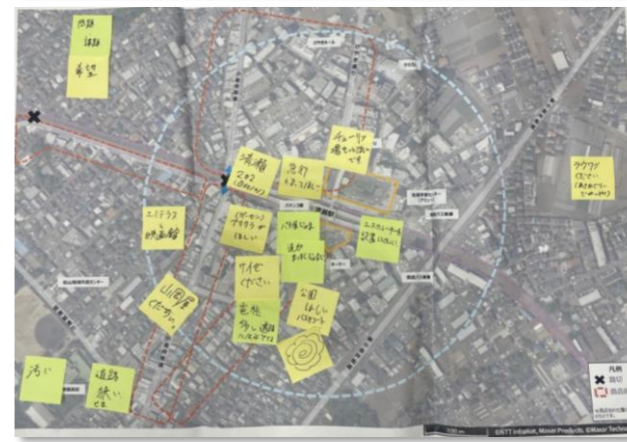
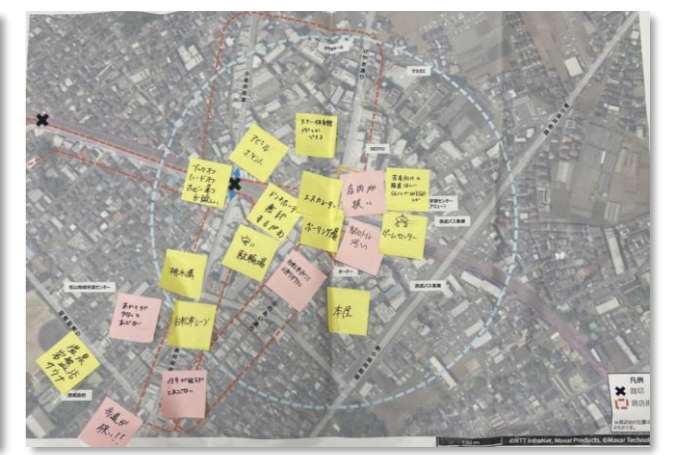
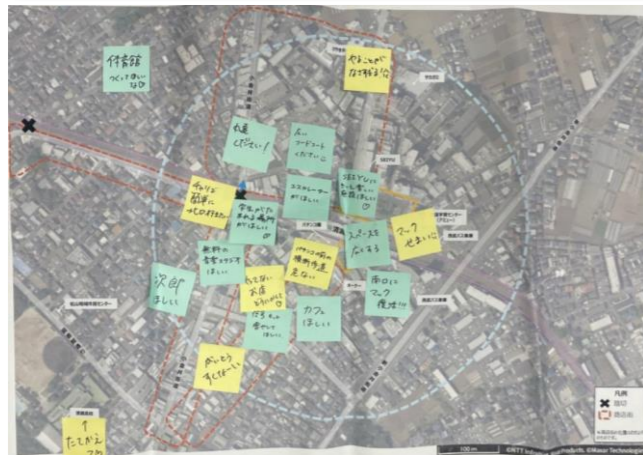
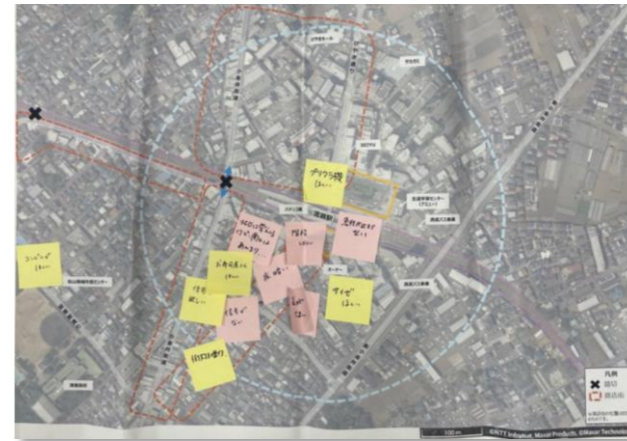
- 子どもと買い物した帰りに寄れるちょっとした公園があるといい（子どもは楽しめるし、親は少し休憩もできる）
- スペースや広場の確保（シニアスペース、おしゃべりできるスペース、待ち合わせスペース、子どもが電車を眺められるスペース等）
- 駅前にマルシェができる場所がほしい（屋根があり天候に左右されない空間）
- いつでも止められる駐輪場の増設、シェアサイクルの増設
- ベビーカーも子どももゆったり入れるお店
- ちょっと寄れるカフェや大学生でも入りやすい居酒屋がほしい

その他

- 人が集まるイベントがもっとできるといい
- けやきロードフェスタのようなイベントをもっと開催してほしい（清瀬の店舗を知ってもらう機会になる）
- 北口ふんすい広場の活用
- ペDESTリアンデッキを広げて上空空間の活用を検討

(7) 参考資料

■ 清瀬高校 大判地図と付箋(課題と取組について自由に意見出し)
*7グループ分 × 2クラス



■ 清瀬高校 ワークの様子

普段利用している清瀬駅周辺のまちづくりについて、興味を持って意欲的に取り組んでくれました。
 現役高校生ならではの意見をたくさん聞くことができ、貴重な機会となりました。
 「通学時の道路の悩み」や「放課後に遊べる場所・集える場所」に関する意見が多かったです。

講座



ワーク



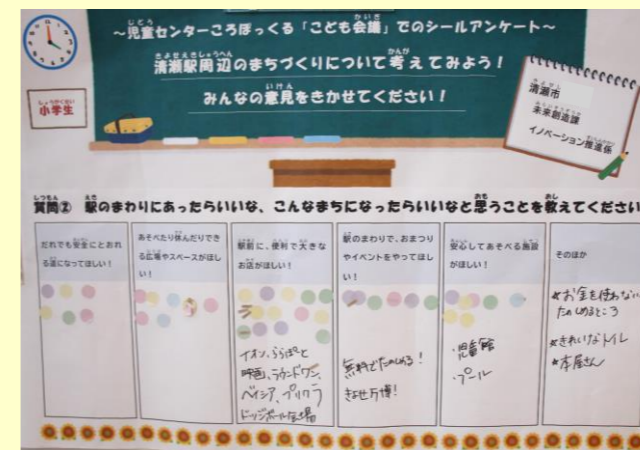
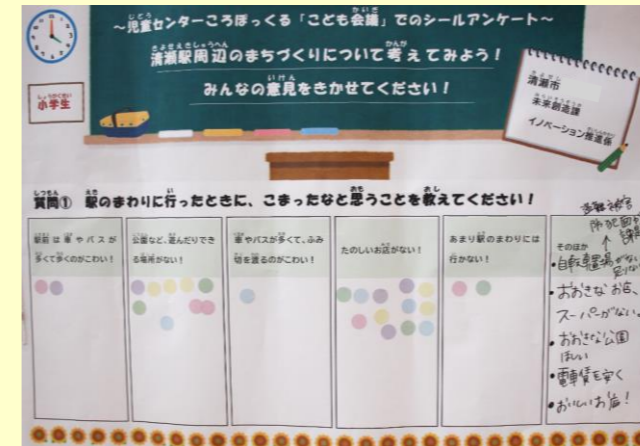
発表



■ 児童センターの子ども会議の様子(シールアンケートの実施)

児童館で遊んでいる小学生や学習中の中高生のところにお邪魔して、清瀬駅周辺について質問をしました。
 まだ一人で駅前に行くことの少ない小学生にとっては、道路や交通面よりも、公園や遊び場、楽しいお店を望む声が多かったです。

小学生へのアンケート



中学生へのアンケート



質問ボックスも設置



■ 障害者施設へのアンケート用紙と視覚障害者グループへのインタビューの様子

市内の障害者施設のご利用者様とご家族を対象にしたアンケートを実施しました。また、視覚障害者グループあかりさんのサロンに参加し、インタビューを実施しました。普段、私たちが気づけない事や、バリアフリーが不足している現状をあらためて知ることができました。

■ 女性の皆さんへのインタビューの様子とインタビュー用紙

起業する女性たちの支援イベント「キヨセdeフェスタ」を企画・運営している市民団体「キヨセdeプランニング」さんにご協力いただき、清瀬在住の方や清瀬で活躍している女性のみなさまへインタビューを実施しました。(主婦の方、自営業の方、大学生の方など) 交通の視点でのご意見や、駅前でマルシェ等のイベントが行えるスペースを望む声が多かったです。

アンケート用紙

清瀬の未来に関するアンケート ◆回答期限:10月8日(水)まで

清瀬市では、まちづくりを推進していくために、今年度「第5次長期総合計画」と「清瀬駅周辺の未来構想ビジョン」を策定します。このアンケートは、より多くの方にご意見をお伺いし、計画策定の参考にさせていただくことを目的に行うものです。みなさまが生活の中で感じていることをお聞かせいただければ幸いです。

※回答は匿名・無償で行います。お寄せいただいたご意見は、まちづくりの推進や施設整備などの施策に活用させていただきます。また、ご意見が重複する場合は、ご本人様へご連絡させていただきます。

※回答期限は10月8日(水)までです。10月8日(水)以降は、ご回答いただけない場合がございます。

～回答者情報に関する質問です～

● アンケートに回答していただく方とはなですか？ (1つに○)

1 ご本人(ご家族等の支援により、ご本人の意見を記入する場合を含む)
2 ご家族がご本人に代わって回答
3 その他()

● あなたの性別はどちらですか？ (1つに○)

1 男性 2 女性 3 回答しない

● あなたの年齢はおいくつですか？ (1つに○)

1 10歳代 2 20歳代 3 30歳代 4 40歳代
5 50歳代 6 60歳代 7 70歳代 8 80歳以上

● どのような障害がありますか？ (あてはまるものに○)

1 視覚障害 2 聴覚・平行機能障害 3 音声・言語・しゃく障害 4 上肢・下肢障害
5 知的障害 6 発達障害 7 精神障害 8 脳神経障害 9 その他()

～まちづくりに関する質問です～

● 清瀬市の好きなところはどこですか？ (自由記入)

例)緑地・公園などの自然豊かなところ
例)歴史・文化施設が比較的にあるところ

～まちづくりに関する質問です(つづき)～

● 清瀬市に住んでいて困っていることはありますか？ (自由記入)

例)交通手段が少ないこと
例)大きな商業施設が無く、買い物に不便

● 10年後の清瀬市はどのようなまちになってほしいですか？ (自由記入)

例)豊かな自然を守りつつ、商業施設が進んでほしい
例)景観に統一感が出てほしい

～駅周辺に関する質問です～

● 清瀬駅周辺を利用するときに困っていることはありますか？ (自由記入)

例)駅口の通路とデッキの間に段差があり、特に車いす利用時には不便に感じる。
例)駅前広場に歩道ブロックがあるが、バス乗降時に詰まっている人に譲られて、安全に歩行できない。

● 清瀬駅周辺に困ってほしい機能はありますか？ (自由記入)

例)物販的な機能やバリアフリー機能(OOな施設がほしい)1歩より多くて安全に歩ける広い道がほしい)
例)人によるサポート活動・案内表示の充実

【問合せ】
清瀬市役所 未来創造課イノベーション推進係
担当：大津、神原、赤田
電話：042-497-1802(直通)
メール：mirai_sozo@city.kiyose.lg.jp

アンケートは以上です。
たくさんのお返事いただき、誠にありがとうございました。

↓ 画面につづきます ↓

インタビュー用紙

【清瀬駅周辺のまちづくりに関するインタビュー】 令和7年10月21日

清瀬市では、まちづくりを推進していくために、今年度「清瀬駅周辺の未来構想ビジョン」を策定します。今回のインタビューは、より多くの方にご意見をお伺いし、計画策定の参考にさせていただくことを目的に行うものです。みなさんが日常の中で感じていることをお聞かせいただければ幸いです。

※回答は匿名・無償で行います。お寄せいただいたご意見は、まちづくりの推進や施設整備などの施策に活用させていただきます。また、ご意見が重複する場合は、ご本人様へご連絡させていただきます。

※回答期限は10月21日(水)までです。10月21日(水)以降は、ご回答いただけない場合がございます。

～回答者情報(差し支えない範囲でご記入ください)～

● 氏名: _____ ● 年代: _____ 歳代
● お住まい: 市内在住・市外在住 ● ご職業: _____

～駅周辺に関する質問です～

● 現在の清瀬駅周辺における問題点・課題は何だと感じますか？ (自由記入)

例)南口のロータリーでは、自動車とバスが混雑して危険なので、注意してほしい。
例)公園や広場など、ゆったりできる場所がない。

● 清瀬駅周辺でどんな施設・機能・取組みがあったらよいと思いますか？ (自由記入)

例)子どもを遊ばせても、安全に歩ける遊歩道を整備してほしい。
例)駅周辺で何でもそう便利な商業施設がほしい、親子で遊べる空間がほしい。

● その他ご意見 _____

【問合せ】
清瀬市役所 未来創造課イノベーション推進係
担当：野中、赤田
電話：042-497-1802(直通)
メール：mirai_sozo@city.kiyose.lg.jp

インタビューの様子



インタビューの様子



5 パブリックコメントの実施状況

■ 市民まつりでのインタビューの様子(シールアンケートの実施)

きよせ市民まつり2025の未来創造課ブースを訪れた方に、清瀬駅周辺に関するアンケートを実施しました。
子どもから大人まで、幅広い方々と清瀬駅周辺について会話することができました。

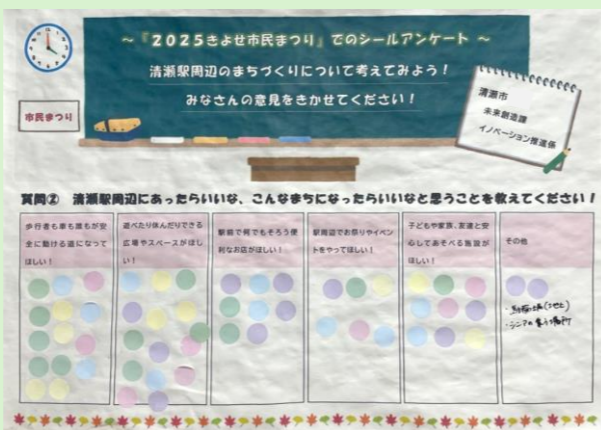
未来創造課ブース



アンケートの様子



ボード



(1) 実施概要

- ①意見の募集期間
令和8年1月15日(木)から令和8年2月13日(金)まで
- ②意見の提出方法
 - ・ 未来創造課窓口
 - ・ 郵送
 - ・ ファックス
 - ・ 電子メール
 - ・ 専用フォーム
- ③意見を提出できる方
 - ・ 市内に在住・在勤・在学の方
 - ・ 市内に事業所を有する個人及び法人その他の団体
 - ・ この事案について直接的に利害関係が生じると認められる方
- ④資料の閲覧場所
 - ・ 市ホームページ
 - ・ 各地域市民センター
 - ・ 駅前図書館
 - ・ 生涯学習センター
 - ・ 男女共同参画センター
 - ・ 児童センター(ころぼっくる)
 - ・ 南部児童館等複合施設(まつぼっくる)
 - ・ コミュニティプラザひまわり
 - ・ 清瀬けやきホール
 - ・ 行政資料コーナー(市役所本庁舎1階)
 - ・ 未来創造課(市役所本庁舎3階)

(2) 周知方法

- ・ 令和8(2026)年1月15日号の市報
- ・ SNS配信(清瀬市Twitter/Facebook/メール一斉配信サービス)
- ・ まちなかオープンハウス(P.45参照)

(3) 意見募集の結果

- ・ 意見応募者数: 16名
- ・ 意見件数: 35件

6 まちなかオープンハウスの実施

(1) 実施概要

清瀬駅周辺の未来構想ビジョン(案)のパブリックコメントの実施に際し、市民の方々をはじめとした多くの方から意見を得るため、パネルを展示した「まちなかオープンハウス」を実施しました。

(2) 実施日時

2日間に渡って開催しました。

- ① 1日目: 令和8(2026)年1月23日(金) 16時から19時まで
- ② 2日目: 令和8(2026)年1月24日(土) 11時から14時まで

(3) 実施場所

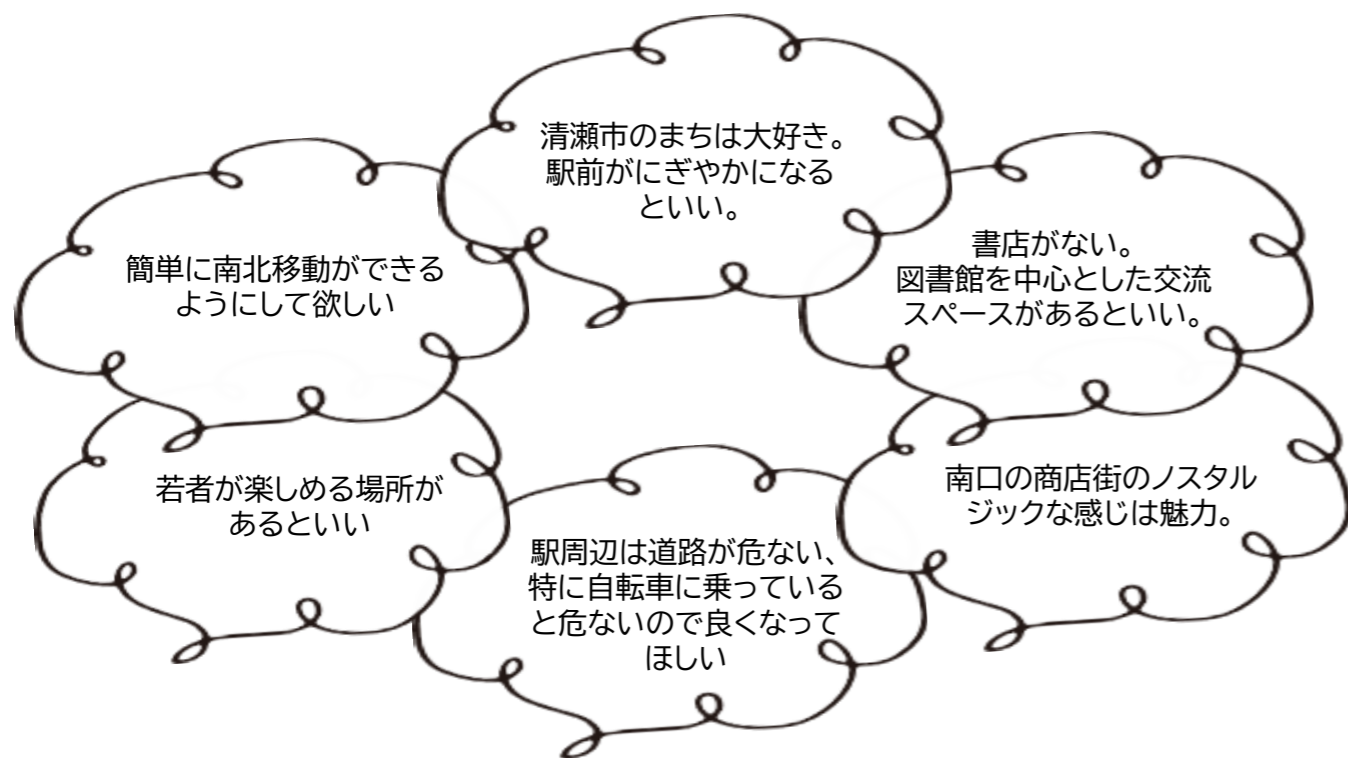
清瀬駅北口ペDESTリアンデッキ

(4) お立ち寄りいただいた人数

- ①1日目:66名
- ②2日目:69名(うち小さなお子様2名)

(5) いただいた主な意見

口頭でいただいた主な意見を掲載します。
掲載したものの以外にも、大変多くのご意見をいただきました。



まちなかオープンハウスの様子

